活動をし、認定者の減少に取り組みたい。又農業、商工業の発展の為に頑張りたい。

問　道路特定財源を一般財源化にとの国の方針でありますが、地方の道路はまだまだ今後整備が必要であり、道路特定財源の確保に万全を期さなければならないと思われるがいかが考えか伺います。

答（町長）道路特定財源の一般化財源という事は国がさかんに言っている事である。

しかし平成20年以降になる見込であり、ここ2～3年間は地方道路（基幹線道路）整備に力を入れたいとの事であり、当町も合併し、まだまだ旧2町間の道路整備が遅れている。当町がかかえている道路整備の促進の為力を入れたい。

又、内藤橋の整備にも力を入れて行きますと共に、大藤地区の河川改修にも力を入れてまいります。

教育問題について

問　今日、全国の小中高校間で、いじめによる自殺者の増加傾向にあり、社会的問題になっている。当町においても発生する可能性もあり、例外ではないと思われるが、どの様な指導をされているのか伺います。

答（教育長）町内に7校の小学校、2校の中学校があります。その全体の生徒にいじめに対しアンケート調査をしたところ、いじめにあった子ども又、いじめにより自殺も考えた事もあった子ども、と色々な回答がありました。その結果をふまえ個別に指導した件もありました。しかし全体的な指導としまして、思いやりのある、出来る子どもにと指導をしているところです。今後共温かく見守って行きたい。

問　教育基本法の改正がなされ、今日までの基本法とどう異なるのか伺いたい。

答（教育長）現行法も改正法も『教育の目的』は共通です。しかし『真理と正義を愛し個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじ自主的精神に満ちた…』という文言が変えられています。更に『伝統と文化を尊重し、それらを育んできたわが国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと』が新しく付け加えられています。また改正法では『家庭教育』の条文が新しく掲げられ『幼児期の教育』や『学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力』も新しく掲げられています。

問　旧菊水町の小学校統廃合問題で説明会も開かれ、町民保護者、議会においても現状をふまえ統合やむなしとの考えであろうと思うが、少子化時代の流れの中で早急な対応が必要と思われるがいかが。19年度予算に、設計、調査費用等を組むべきと考えるが、いかがお考えをおもちか。

答（町長）少子化の中、各学校の複式学級が増加している事は現状であります。

議会においても特別委員会を設置し、研修を行われている事に感謝しているところです。町民の意見を充分に聞き入れて対応して行きたいと考えております。

早急な対応でなく予算と照らし合わせ、平成21年で打ち切りとされている過疎さいを利用出来るまで充分に検討して進めてまいりたい。19年度に予算化出来ないかの問いには現在の所考えていない。

答（教育長）郷土に根づいている各学校の廃止となると淋しいものがある。しかし現実はせまっている事もわかっている。小さな学校でも立派に行事又、教育も行われているのも事実であり、しかも少人数にもかかわらず運動面においてすばらしい成績を残しているのも事実である。町内の小学校間を交互に交流するのも一つの方法とも考えます。21年までにはどうかしなければと考えている。

菊水中央小学校全景

古閑 修一議員

予算執行の更なる適切、公正さを求めて！

問　今年度土木費予算、6億1、900万円の内訳で、新設道路改良費3億4、800万円の11月末日までの支出済み額はいくらか。又、中林橋梁改築に於いては繰越しがあると思うが、どうなっているのか。

答（建設課長）①測量設計費予算、2、930万の内、予算残は230万。②工事請負費予算2億5、500万の内、予算残は5千万。③用地費予算1、270万の内、契約が5百万、支払済みが270万、残りは来月上旬までに契約の予定。④補償費予算5、100万の内、契約額が4、500万、残りは来月上旬までに契約の予定。

答（建設課長）②中林橋梁については、当初予算で1億8千万を計上、18年度工事費で1億と考えているので、19年度繰越しを8千万程と見ている。

問　本町における一般指名競争入札の業者の選考及び資格はどのようになっているのか。

答（建設課長）指名業者の選考は、町工事請負業者指名審査会（委員）助役、本庁総務課長、総合支所長、本庁建設課長、本庁経済課長により選考している。現在、町内の登録業者は、旧三加和が7社、旧菊水が11社である。資格は、土木施工管理技術師一級、二級、地滑り防止工事士、法面施工管理技師、建設機械施工管理技師一級、二級等、その他種々の資格が必要である。

問　300万以上の工事名、業者名及び工事費を伺う。

答（建設課長）今年契約順で日平基盤促進事業（木村組）7、100万、町道久米野東小線（佐伯工業）2、800万、内田古閑線（桜井組）2、750万、町道岩線（東和建設）2、700万、中林橋梁工事（大昭建設）5、300万、竈門塚畑線（菊水建設）1、650万、中林仮橋工事（堤建設）1、700万、下水道マンホール工事（西島製作所）1、100万、中和仁真弓線工事（堤建設）780万、高野蛇田線舗装工事（木村組）670万、その他、合併浄化槽、防火水槽など合計29ヶ所である。

問　一般指名競争入札における入札予定価格の公表により、落札率に変化はあるのか、又公表がある場合の利点と公表がない場合の悪い点は何か。

答（町長）業者もパソコン積算ソフトで行う為、より近い数字となるので落札率に変化はないと思う。又予定価格の公表をしない場合、入札参加予定者が予定価格を探るような不正行為が考えられる。

問　地方自治法234条（契約）の中で随意契約とあるが、本年11月末日までにその契約はあったのか、又財務規則にある130万を越えるものはなかったか。

答（建設課長）町道の崩土除去工事として、一業者約60万～70万の工事が3件だけである。

中林橋・橋梁工事現場

問　今後、町長の公約でもあるアクセス道路及び町道の整備を早急に進めて頂くと共に今後も、公正、適切な予算の執行を願う。又談合の事態を受け、他県では指名入札から競争入札への移行が見られる訳であるが、その事により、たとえ工事を受注しても採算割れが生じ、その為工事自体の一定の品質、技術が損なわれる恐れがあるのも事実である。今後地元業者の育成も計りながら、長い目で入札改革も視野に入れ、この問題にどう向き合っていくのかが、地方自治体のこれからの課題ではないかと思うと共に、今後とも我が町に於いて、官制談合等がないよう願う。

答（町長）御指摘をしっかり受け止め、今後も公明、公正に取り組んで行きたいと思う。

杉村 幸敏議員

平成18年3月1日合併後9ヶ月が過ぎ坂梨町長に於かれては、新しい町づくりの3ヶ年計画が作成されていると思うが、青写真、ビジョンの見解は。1月～2月にかけては、19年度予算の査定が行われるが、町長としての考えについて伺いたい。

問　農業振興の取り組み及び基本方針について伺いたい。

答　合併時に作成された新町建設計画に沿い、新たな総合的な17年度の決算、今年度の決算の行方を見ながら、19年度予算の計画を組みたいと思います。又行財政改革も進めたい。農業の振興については19年8月31日付けで農業経営基本強化の促進による基本的構想を策定し公告しました。又、JA玉名、玉名振興局、農業委員会で担い手育成総合支援協議会を設置して努力してまいります。

教育関係について

問　基本方針（いじめ問題）学校統廃合の考えは。

答　いじめについては、早期発見なり、危機意識を持っての発見、早期解決が必要と思われる。基本的には確かな学力をつける事、豊かな人間性逞しい体力、健康を確かな物にして行くべきであると思われる。

小中学校の統廃合については小中学校が一緒に乗り入れる棟続き近くにあることが教